

(参考資料)

JA今治立花自己改革工程表 (平成29年度～平成31年度) (案)

《 農業者の所得増大と農業生産の拡大、地域の活性化に挑戦します 》

重点実施事項

- 担い手の育成・支援による管内農業の活性化
- 営農・経済部門への経営資源の投入
- マーケットインに基づく生産振興・販売事業改革
- 地域の特性を生かした付加価値の創造
- トータルコスト低減に向けた経済事業改革の実践
- JAによる暮らしの活動支援

【目指すべき将来像】

- ・持続可能な農業の実現
- ・豊かな暮らしのための農業所得の確保
- ・地域の活性化と担い手を中心とした豊かな地域社会

将来に向けて

- * 意欲と能力のある担い手の育成を行い、地域農業と農地を守る。
 - ・専任担当職員の充実を図ります。
- * 水田農業政策等による施作の積極的活用による生産者所得の向上を図る
 - ・経営をサポートする農業融資を強化します。
 - ・農業おまかせ資金の活用促進
- * 消費者需要に応じた付加価値の高い農畜産物の消費拡大販売強化を行う
 - ・マーケットイン(消費者ニーズ)による消費拡大を図ります。
- * 「トータルアグリド事業」に取り組み、生産資材の計画的購入を行い、コストの低減を図る。
 - ・予約購買等の計画的購入を行い資材コストの低減を図る。
- * 地産地消を推進し、学校給食へ安心安全な有機農産物の供給を行う。
 - ・学校給食への有機農産物の安定供給に取り組みます。

基本目標	目的	今治立花農業の振興に向け「担い手の育成・支援」「農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた生産振興・販売事業改革」に取り組む。			
	実践方策	具体的実施事項・実施手順	29年度	30年度	31年度
農業所得の増大と農業生産の拡大	今治立花農業の振興に向け担い手等(認定農業者・ベテラン農業者・新規就農者・定年帰農者等)への育成支援に取り組む。	新規就農者・定年帰農者向けの説明会の実施	説明会 2回/年	説明会 2回/年	説明会 2回/年
		新規就農者の募集広告の掲載	掲載回数 3回/年	掲載回数 3回/年	掲載回数 4回/年
		定年帰農者・新規就農者向けの体験農業塾の開催	開催回数 2回/年	開催回数 2回/年	開催回数 2回/年
		相続・事業継承相談会の開催	開催回数 3回/年	開催回数 3回/年	開催回数 4回/年
		農地受委託契約相談会の開催	開催回数 3回/年	開催回数 3回/年	開催回数 4回/年
	水田フル活用の観点から、引き続き飼料用米の推進に取り組むとともに、麦・大豆等も含めて地域実態に合った品目を選択し、需要に応じた生産に取り組む。地域ブランドの確立と地域農産物の消費拡大及び6次産業化に取り組む。	業務用多収品目の栽培講習会の開催	開催回数 3回/年	開催回数 3回/年	開催回数 3回/年
		地域ブランド米の生産拡大	生産面積1ha	生産面積2ha	生産面積2ha
		麦・大豆生産拡大に向けた栽培研修会の開催	開催回数 1回/年	開催回数 2回/年	開催回数 3回/年
		学校給食米栽培面積の拡大	栽培面積 23ha	栽培面積 24ha	栽培面積 25ha
		地産地消の推進による学校給食向け有機野菜の販売	生産者数 5人	生産者数 5人	生産者数 5人
農業生産におけるトータルコストの低減を図る。	他店舗の価格調査による生産資材価格の見直し	価格調査 1回/年 価格見直しの検討 1回/年	価格調査 1回/年 価格見直しの検討 1回/年	価格調査 1回/年 価格見直しの検討 1回/年	